

下記は、7月18日(アメリカ時間)に発表されたプレスリリースの翻訳です。

シティグループ第2四半期の業績発表

純利益50億7000万ドル、一株あたり利益は0.97ドル

継続事業利益は47億3000万ドル、継続事業利益の一株あたり利益は0.91ドル

収入は202億ドル

シティグループ・インク(NYSE:C)は本日、2005年第2四半期の純利益50億7000万ドル、一株あたり利益0.97ドルを発表しました。これは、前年同期の純利益11億4000万ドル、一株あたり利益0.22ドルから増加となります。継続事業利益は47億3000万ドル(前年同期の9億1600万ドル)、一株あたり0.91ドル(同0.17ドル)となりました。

2004年第2四半期のワールドコム集団訴訟和解に関する税引き後費用49億5000万ドルと訴訟準備金の積み増し、サンバ・フィナンシャル・コープの持分売却による税引き後利益7億5600万ドルを除くと、継続事業の純利益と一株あたり利益はそれぞれ、7%と6%の減少となりました。

シティグループ事業部門別業績 (単位:100万ドル)	第2四半期収益		%	第2四半期純利益		%
	2005	2004	増減	2005	2004	増減
グローバル個人金融	\$12,007	\$12,215	(2)%	\$2,897	\$3,102	(7)%
サンバ売却益除く ⁽¹⁾		11,631	3		2,724	6
法人金融・投資銀行	5,156	6,067	(15)	1,372	(2,805)	NM
04年の費用・サンバ売却益除く ^(1,2)		5,483	(6)		1,767	(22)
グローバル・ウェルス・マネジメント	2,100	2,087	1	322	363	(11)
オルタナティブ投資	1,112	545	NM	385	278	38
本社事項/その他	(206)	(59)	NM	(245)	(22)	NM
継続事業の業績 ⁽³⁾	\$20,169	\$20,855	(3)%	\$4,731	\$916	NM
04年の費用・サンバ売却益除く ^(1,2)		19,687	2		5,110	(7)%
廃止事業 ⁽³⁾				342	228	50%
シティグループ合計	\$20,169	\$20,855	(3)%	\$5,073	\$1,144	NM
シティグループ合計						
04年の費用・サンバ売却益除く ^(1,2)		\$19,687	2%		\$5,338	(5)%

(1) 2004年第2四半期の税引き前サンバ持分売却益11億7000万ドル(税引き後7億5600万ドル)は、グローバル個人金融部門と法人金融・投資銀行部門で二等分されます。(2) 2004年5月のワールドコム集団訴訟和解費用と訴訟準備金増額による税引き後費用49億5000万ドル。(3) 継続事業からの収入は、2005年7月1日に完了予定の売却取引の対象であった生命保険・年金事業の大部分とアルゼンチンの年金事業の業績を除きます。また、現在売却取引の対象となっているアセット・マネジメント部門の大部分の業績も除きます。上記の生命保険・年金事業、およびアセット・マネジメントの各事業の業績は、全ての期について廃止事業に計上されています。

「当四半期、当社の事業は厳しい状況に直面しました。」と、シティグループのチーフ・エグゼクティブ・オフィサー、チャールズ・プリンスは語りました。「資本市場の環境はここ数年の間で最悪となり、イールド・カーブの直線化により、債券市場の収益が減少しました。短期金利の上昇とイールド・カーブの直線化により複数の事業部門においてスプレッドが縮小しました。新たな破産法の施行により短期的に破産申告数が上昇し、北米カード事業の与信コストが約1億7500万ドル増加しました。こうした困難にも関わらず、当社の多様な事業基盤は力強い収益を生みました。北米以外の個人金融部門では、顧客数の力強い伸びにより収益が10%増加しました。取扱商品拡大のため資金投入を続けてきた株式市場部門は特に好調で、収益が40%増加しました。トランザクション・サービス事業では記録的収益と純利益の力強い伸びを達成し、それぞれ21%増と10%増となりました。」

「第2四半期は、引き続きシティグループが強みを発揮できる事業基盤に一層注力し、競争上の優位を拡大するため投資を行いました。当社はアセット・マネジメント部門の大部分の売却を発表し、生命保険・年金事業の売却を7月1日付けで完了させました。レグ・メイソンの証券仲介・販売事業を取得したことによりプライベート・クライアント・事業を大幅に強化できるものと考えており、またフェデレイテッドとの重要なクレジットカード提携事業を発表しました。グローバルなネットワークの拡大を継続させ、リテール・バンク拠点と消費者金融拠点合計135店舗を新設し、米国リテール・バンキング顧客に対する「サンキュー・リワード・プログラム」を拡張しました。

「また、現在進行中の法令・規制上の問題解決についても、重大な進展が見られました。エンロン集団訴訟の和解に合意し、エンロン関連の残存請求額を大幅に減少させました。ユーロゾーン債券取引について英国金融サービス機構(FSA)と和解し、証券代行機関に関する問題で米国証券取引委員会と(SEC)和解しました。これらの問題の解決は、シティグループと株主の最大の利益に適っていると考えています。」プリンスは述べました。

第2四半期の概要： 継続事業

顧客数: 北米のリテール・バンキングでは平均預金残高およびローン残高がそれぞれ6%増と20%増となりました。北米外では、リテール・バンキングの預金残高とローン残高はそれぞれ9%増と19%増となりました。カード事業では購入売上高の9%が返済率上昇に相殺され、北米の平均管理貸付は2%増加となりました。北米外のカード事業では売上が17%増加し、債権は18%増となりました。日本以外のプライベート・バンク部門の顧客ビジネスは13%増となり、これには米国の27%成長が含まれています。トランザクション・サービスでは、預かり資産が14%増、債務残高は25%増となりました。

収益: 収益は3%減少しました。前年同期に計上されたサンバの持分売却による税引き前利益11億7000万ドルの影響を除くと、収益は2%増加しています。アジアとラテンアメリカの力強い成長により、北米以外の顧客ビジネスが10%成長したことが収益増につながりました。北米リテール・バンキングは、メキシコの収益16%増を含め、収益6%増となりました。トランザクション・サービス収益は記

録的な21%増となりました。2005年第一四半期との比較では、収益は5%減少しました。

これらの事業部門の成長は、キャピタル・マーケットおよび銀行業務部門の収益が12%減少したことにより一部相殺されました。厳しい資本市場とイールドカーブの直線化に伴う金利およびクレジット商品のトレーディング収益減少により債券市場部門の収益が28%減少しました。北米カード事業では、3%の収入減が与信コストの低下により相殺され、純クレジット・マージンが7%増加しました。

強みを発揮できる事業基盤を拡大するための資本配分:投資支出は第2四半期も継続され、消費者金融部門の拠点73店舗とリテール・バンク拠点62店舗の合計135店舗の新拠点が開設されました。日本では新たに65箇所の自動預払機(ALM)が設置されました。広告およびマーケティング支出は、個人金融部門およびウェルス・マネジメント部門におけるグローバル・ブランド・サポート、リワード・プログラムおよび新商品投入が中心となりました。カード事業の戦略的取引には、フェデレイテッド・デパートメント・ストアーズとの長期的リテール提携契約の発表と、スペインのセSPA、チェコ共和国のユーロテル、日本のMTVとの共同ブランドクレジットカード導入が含まれます。アセット・マネジメント部門売却契約の一環として、シティグループはレグ・メイソンの1,354人の経験豊富なファイナンシャル・アドバイザーと127支店がウェルス・マネジメント部門に加わり、米国内でレグ・メイソンが運用する株式投資信託を販売する重要な戦力となります。

費用:費用は40%減少しました。ワールドコム和解に関する79億2000万ドルの費用と前年同期に計上した訴訟準備金増加の影響を除くと、費用は7%増加しました。この増加のうち約3ポイントは投資支出の増加、3ポイントは買収と外国為替の影響によるものです。2005年第一四半期との比較では、費用は4%減少しました。

安定した信用環境:法人金融・投資銀行部門では、現金ベースの貸出が前四半期比8%減の16億ドルとなりました。これはピーク時の2003年6月の42億ドルから62%の減少となります。貸倒引当金により1400万ドルの給付が発生し、これには法人顧客に対する貸出増加による未拠出貸出予約のための法人引当金の税引き前増加額1億ドルが含まれます。商業市場貸出を除くグローバル個人金融部門の損失は管理ベースで2.57%改善し、2004年第2四半期比64ベースポイント減となりました。北米外の個人金融の業績には、破産法自由化の影響についての経験に基づくドイツのリテール・バンキングにおける貸倒損失引当金増額による税引き前費用1億2700万ドルが含まれます。

税金:業績には監査完了に関する税効果6500万ドルが含まれています。

自社株買い:当四半期中に、総額20億ドル、4200万株が買い戻されました。

資本利益率:普通株式利益率(ROE)は18.4%、リスク資本利益率は36%となりました。

廃止事業:2005年1月31日、シティグループは従来アセット・マネジメント部門に計上されていたアルゼンチンの年金事業を含む、生命保険・年金事業の大部分の売却を発表しました。売却取引の対象とされなかったメキシコの生命保険事業は、北米リテール・バンキング(メキシコ)に計上されています。この取引は、2005年7月1日に完了しました。

2005年6月24日、シティグループはアセット・マネジメント部門の大部分の売却を発表しました。この売却取引には、メキシコのアセット・マネジメント部門、ラテンアメリカの退職金運用サービス事業、およびシティストリート合弁事業に関する権利は含まれていません。メキシコのアセット・マネジメント事業は北米リテール・バンキング(メキシコ)に計上されています。ラテンアメリカの退職サービス事業は北米外リテール・バンキング(ラテンアメリカ)に、シティストリート合弁事業はスミス・バーニーに計上されています。

上記の売却取引に含まれる生命保険・年金事業とアセット・マネジメント事業の業績は廃止事業として計上されています。

グローバル個人金融部門

(単位:100万ドル)	第2四半期収益		%	第2四半期純利益		%
	2005	2004	増減	2005	2004	増減
北米カード	\$3,581	\$3,686	(3)%	\$861	\$850	1%
インターナショナル・カード	870	781	11	206	162	27
カード合計	\$4,451	\$4,467	0%	\$1,067	\$1,012	5%
北米消費者金融	\$1,795	\$1,806	(1)%	\$477	\$457	4%
北米外消費者金融	918	871	5	169	137	23
消費者金融合計	\$2,713	\$2,677	1%	\$646	\$594	9%
北米リテール・バンキング ⁽¹⁾	\$3,182	\$2,994	6%	\$885	\$785	13%
北米外リテール・バンキング	1,691	1,520	11	356	407	(13)
リテール・バンキング合計	\$4,873	\$4,514	8%	\$1,241	\$1,192	4%
その他	(30)	557	NM	(57)	304	NM
グローバル個人金融 ⁽¹⁾	\$12,007	\$12,215	(2)%	\$2,897	\$3,102	(7)%
グローバル個人金融 サンパ売却益除 ⁽²⁾		\$11,631	3%		\$2,724	6%

(1) 従来生命保険・年金事業に計上されていたメキシコの生命保険事業の収益と純利益を含みます。また、従来アセット・マネジメント部門に計上されていたメキシコのアセット・マネジメント事業の収益と純利益も含まれます。(2) 「その他」に計上された、2004年第2四半期の税引き前サンパ持分売却益5億8400万ドル(税引き後3億7800万ドル)。

北米カード事業

- 購入売上の9%増が金利利鞘縮小、返済率上昇およびリスク・ベース手数料低下により相殺され、収益は3%減となりました。
- 目標市場の拡大により管理債権が63%成長し、メキシコのカード事業の収益と純利益はそれぞれ58%と42%増加しました。
- 有利な与信環境の継続と資産の売却により、短期的な破産申告件数上昇の税引き前与信コスト約1億7500万ドル増加が相殺され、純クレジット・マージンは7%増加しました。2004年第2四半期の与信コストには、貸倒引当金繰入額6000万ドルが含まれました。

インターナショナル・カード

- 収益と収入の成長は、購入売上の17%増と平均貸付の18%増を反映しています。この業績には、オーストラリア、韓国、インドおよびブラジルの力強い内部成長が含まれています。
- インターナショナル・クレジットは純貸倒損失が41ベースポイント減の2.84%に達し、引き続き改善がみられます。
- 純クレジット・マージンは13%増加しました。

北米消費者金融

- 平均ローンの6%増が純金利利鞘の52ベースポイント減により相殺され、収益は前年同期比1%減となりました。スプレッドの縮小は、主にポートフォリオの利回り低下によるものでした。
- 収入の伸びは、経費節減の継続と与信コストの低下によるものです。純貸倒比率は39%改善され2.30%となりました。
- 投資半期も支店増設の投資は継続され、メキシコに新たに16店舗が開設されました。2004年第2四半期以降、メキシコを中心に77支店が増設されています。

北米以外の消費者金融

- 収入の伸びは主に費用の減少と日本における信用改善の継続によるものです。日本以外では、13%の収入増が投資支出の増加により相殺されました。
- 平均ローン残高は、日本の8%減と日本以外の22%増を反映して6%増となりました。
- 純貸倒損失率は84ベースポイント改善され5.73%となりました。
- 当四半期、日本以外の地域に新たに54拠点が開設され、日本では65箇所の自動預払機(ALM)が設置されました。2004年第2四半期以降、20%増となる271店舗が増設されています。

北米リテール・バンキング

- 平均顧客預金残高および貸付残高はそれぞれ6%増と20%増となり、その一部はスプレッド縮小の継続と商業用事業のポートフォリオ清算の影響により相殺されました。
- メキシコのリテール・バンキング収入は預金残高の8%増とローン残高の23%増により大幅に増加

しました。また、メキシコ政府債の再編の有利な影響による税引き前金額7800万ドルも計上されています。

- 前年計上された貸倒損失引当金繰入額1億2700万ドルにより、与信コストは増加しました。

北米外のリテール・バンキング

- 収益の伸びは、預金残高とローン残高がそれぞれ9%増と19%増となったことと、預金商品のスプレッド改善を反映しています。
- 費用には当四半期中に20支店を新設したことに伴う継続的な投資支出が含まれています。また、フィリピンのインシュラー・セービングス・バンク買収により36支店が新たに加わりました。2004年第2四半期以降、86支店が増設されています。
- 与信費用は、破産法自由化の影響についての経験に基づくドイツのリテール・バンキングにおける貸倒損失引当金増額による税引き前費用1億2700万ドルにより増加しました。

法人金融・投資銀行部門

(単位:100万ドル)	第2四半期収益		%	第2四半期純利益		%
	2005	2004	増減	2005	2004	増減
キャピタル・マーケットおよび銀行業務	\$3,965	\$4,495	(12)%	\$1,043	\$1,502	(31)%
トランザクション・サービス	1,191	987	21	288	262	10
その他	-	585	NM	41	(4,569)	NM
法人金融・投資銀行	\$ 5,156	\$6,067	(15)%	\$1,372	\$(2,805)	NM
法人金融・投資銀行	04年の費用・サンバ売却益除く ⁽¹⁾		\$5,483	(6)%	\$1,767	(22)%

(1) 2004年5月のワールドコム集団訴訟和解と訴訟準備金の積み増し費用税引き後49億5000万ドル、2004年第2四半期の税引き前サンバ持分売却益5億8400万ドル(税引き後3億7800万ドル)。

キャピタル・マーケットおよび銀行業務

- 債券市場の収益は28%減少しました。厳しい資本市場環境とイールドカーブの直線化から金利およびクレジット商品のトレーディング収益が減少しましたが、その一部は外国為替および商品取引の収益増で相殺されました。
- 現金取引、デリバティブ商品とエクイティ・ファイナンスの業績改善と成長から、株式市場収益は40%増となりました。
- 一部高利回り債券引受業務の収益減少がM&A取引の力強い成長によるアドバイザー手数料およびその他手数料の13%増加により相殺され、投資銀行収益は1%減となりました。
- 貸倒引当金により2000万ドルの給付金が発生し、これには未拠出貸出予約の引当金増加のための税引き前費用9600万ドルが含まれます。引当金の増加は法人顧客に対する貸出増加を反映しています。前年計上された税引き前貸倒損失引当金繰入額2億7600万ドルに

より、与信コストは2億5600万ドル増加しました。

- また、メキシコ政府債の再編の有利な影響による税引き前金額1900万ドルも計上されています。

トランザクション・サービス

- 記録的な収益は顧客残高の伸びによるものです。短期金利上昇の好影響を反映して、顧客のために保管する債務残高は25%増、預かり資産残高は14%増となりました。
- 買収と新商品導入により、費用は13%増加しました。
- 前年計上された貸倒損失引当金繰入額7400万ドルにより、与信コストは増加しました。

グローバル・ウェルス・マネジメント部門

(単位:100万ドル)	第2四半期収益			第2四半期純利益		
	2005	2004	% 増減	2005	2004	% 増減
スミス・バーニー	\$1,647	\$1,582	4%	\$239	\$211	13%
プライベート・バンク	453	505	(10)	83	152	(45)
グローバル・ウェルス・マネジメント	\$ 2,100	\$2,087	1%	\$322	\$363	(11)%

スミス・バーニー

- 収益の12%増は手数料ベースの収益の増加を反映しています。この一部は顧客取引量の減少による取引収益5%減により相殺されました。
- 手数料ベースの管理資産残高は10%増の2億3900万ドルとなり、当四半期のネット・フローは130億ドルとなりました。
- 税引き前利益24%は前年同期と前期を上回っています。

プライベート・バンク

- 収益は引き続き日本における事業撤退を反映しています。日本の収益と純利益はそれぞれ7300万ドルと6400万ドルの減少となりました。
- 日本以外では、収益は5%増加しました。顧客残高の伸びが金利利鞘縮小を相殺し、経常利益と金利収益は7%増加しました。日本以外の取引収入は顧客取引量の減少により4%減少しました。
- 日本における4500万ドルの損失を除くと、収益増加がフロント・オフィスの営業とサポートに対する投資支出に相殺され、収入は4%減少しました。
- 顧客ビジネスの量は8%増の2200億ドルとなりました。日本以外における成長率は、米国の27%を筆頭に13%の伸びとなりました。手数料ベースの管理資産残高は18%増加しました。

オルタナティブ投資

(単位:100万ドル)	第2四半期収益		%	第2四半期純利益		%
	2005	2004		2005	2004	
オルタナティブ投資	\$ 1,112	\$545	NM	\$385	\$278	38%

オルタナティブ投資

- 主にプライベート・エクイティ・ポートフォリオの時価評価と実現利益により、3億8500万ドルの収入が計上されました。

本社事項/その他

- 本社事項/その他の業績は、短期金利上昇と米国のイールド・カーブ直線化によるトレジャリー収益減少から、2億4500万ドルの損失となりました。

廃止事業

(単位:100万ドル)	第2四半期純利益		%
	2005	2004	
生命保険・年金	\$280	\$164	71%
アセット・マネジメント	62	64	(3)
廃止事業	\$342	\$228	50%

国際業務⁽¹⁾

(単位:100万ドル)	第2四半期 純利益 2005	2004	% 増減
グローバル個人金融	\$368	\$235	57%
法人金融・投資銀行	76	184	(59)
グローバル・ウェルス・マネジメント	10	12	(17)
メキシコ	\$454	\$431	5%
グローバル個人金融 サンパ売却益除く ⁽²⁾	\$122	\$601 223	(80)% (45)
法人金融・投資銀行 サンパ売却益除く ⁽²⁾	336	662 284	(49) 18
グローバル・ウェルス・マネジメント	3	4	(25)
ヨーロッパ、中東およびアフリカ サンパ売却益除く ⁽²⁾	\$ 461	\$ 1,267 511	(64)% (10)
グローバル個人金融	\$ 188	\$ 147	28%
法人金融・投資銀行	54	87	(38)
グローバル・ウェルス・マネジメント	(45)	19	NM
日本	\$ 197	\$ 253	(22)%
グローバル個人金融	\$ 341	\$ 280	22%
法人金融・投資銀行	249	321	(22)
グローバル・ウェルス・マネジメント	31	34	(9)
アジア(日本以外)	\$ 621	\$ 635	(2)%
グローバル個人金融	\$ 80	\$ 54	48%
法人金融・投資銀行	195	185	5
グローバル・ウェルス・マネジメント	8	12	(33)
ラテンアメリカ	\$ 283	\$ 251	13%
北米外の継続事業合計 サンパ売却益除く ⁽²⁾	\$ 2,016	\$ 2,837 2,081	(29)% (3)

(1) 当四半期の北米外の業績は、商品開示資料に全て反映されています。(2) グローバル個人金融部門と法人金融・投資銀行部門で二分された税引き後サンパ持分売却益 7 億 5600 万ドルを除きます。

メキシコ

- 個人金融事業の収入増は、顧客の預金残高およびローン残高の増加と、リテール・バンキングにおけるスプレッド改善、メキシコ政府債の再編の有利な影響による税引き前金額7800万ドルを反映しています。
- 法人金融・投資銀行部門の収入は法人顧客取引の増加がイールド・カーブの直線化とボラティリティ低下によるトレジャリー収益の減少に相殺されて減少しました。前年計上された税引き前貸倒損失引当金繰入額2億ドルにより、与信コストは増加しました。法人の信用環境は引き続き安定しています。また、メキシコ政府債の再編の有利な影響による税引き前金額1900万ドルも計上されています。

ヨーロッパ、中東およびアフリカ

- 前年同期に計上されたサンバの持分売却による税引き前利益3億7800万ドルの影響を除くと、個人金融事業の収入は45%増加しています。個人事業の収入には、支店に対する投資の増加と、ドイツのリテール・バンキングの貸倒損失準備金増加のための税引き前費用1億2700万ドルが反映されています。当四半期、18店舗の消費者金融拠点と9店舗のリテール・バンキング拠点の合計27店舗が開設されました。
- 前年同期に計上されたサンバの持分売却による税引き前利益3億7800万ドルの影響を除くと、法人金融・投資銀行部門の収入は18%増加しています。法人金融・投資銀行部門の収益は債券市場とトランザクション・サービス事業の力強い伸びと、与信費用の低下を反映しています。

日本

- 個人金融部門の収入は主に経費節減と消費者金融の与信コストが減少したことにより増加しました。
- 法人金融・投資銀行部門の収入は顧客取引量の減少と、低いボラティリティにより債券と株式市場の結果が不調となったため減少しました。
- ウェルス・マネジメント部門の業績は引き続きプライベート・バンク業務閉鎖の影響を反映しています。

アジア

- 個人金融の収入は力強く成長しました。カード、リテール・バンキングおよび消費者金融について、顧客残高の伸びを反映した二桁の収益成長が続きました。当四半期、26店舗の消費者金融拠点と6店舗のリテール・バンキング拠点の合計32店舗が開設されました。また、フィリピンのインシュラー・セービングス・バンク買収により36支店が加わりました。
- 法人金融・投資銀行部門の収入は、トランザクション・サービス事業と投資銀行業務の収益の二桁成長を反映していますが、これはイールド・カーブの直線化と不利な金利ポジションによる債券市場の結果に相殺されています。

ラテンアメリカ

- 個人金融の業績は、カード債権残高の増加と有利な信用環境によるカードとリテール・バンキングの二桁成長を反映しています。当四半期、10店舗の消費者金融拠点と5店舗のリテール・バンキング拠点の合計15店舗が開設されました。
- 法人金融・投資銀行部門の収入は、債券市場とトランザクション・サービス事業の二桁収益成長を反映しており、この一部は貸付収益の低下により相殺されました。

非GAAP方式の財務数値算出方式

訴訟費用およびサンバ売却益を除く利益、収益、費用、一株当たり利益は、SEC基準における”非GAAP方式の財務数値算出方式”によって計算されています。

当社では非GAAP方式の財務数値算出方式が継続事業のより完全な理解に役立つと考えています。投資家の皆様は、非GAAP方式の財務数値算出方法により、基本的なトレンドを不明瞭にする特別損益の影響を受けることなく業績を分析できるものと思われまます。

GAAP方式から上述の非GAAP方式への調整方法は以下の通りです。

シティグループ合計

(単位: 100 万ドル、EPS 以外)

	2005 年 第 2 四半期	2004 年 第 2 四半期	(増減)
継続事業の GAAP 収益	\$ 20,169	\$ 20,855	(3%)
サンバ売却益除く	-	(1,168)	
継続事業の調整後非 GAAP 収益	<u>\$ 20,169</u>	<u>\$ 19,687</u>	2%
継続事業の GAAP 費用	\$ 10,972	\$ 18,172	(40%)
訴訟費用除く	-	(7,915)	
継続事業の調整後非 GAAP 費用	<u>\$ 10,972</u>	<u>\$ 10,257</u>	7%
継続事業の GAAP 収入	\$ 4,731	\$ 916	NM
サンバ売却益除く	-	(756)	
訴訟費用除く	-	4,950	
継続事業の調整後非 GAAP 収入	<u>\$ 4,731</u>	<u>\$ 5,110</u>	(7%)
継続事業の GAAP 希薄化後一株当たり利益	\$ 0.91	\$ 0.17	NM
サンバ売却益除く	-	(0.15)	
訴訟費用除く	-	0.95	
継続事業の調整後非 GAAP 希薄化後一株当たり利益	<u>\$ 0.91</u>	<u>\$ 0.97</u>	(6%)
GAAP 純利益	\$ 5,073	\$ 1,144	NM
サンバ売却益除く	-	(756)	
訴訟費用除く	-	4,950	
調整後非 GAAP 純利益	<u>\$ 5,073</u>	<u>\$ 5,338</u>	(5%)
GAAP 希薄化後一株当たり利益	\$ 0.97	\$ 0.22	NM
サンバ売却益除く	-	(0.15)	
訴訟費用除く	-	0.95	
調整後非 GAAP 希薄化後一株当たり利益	<u>\$ 0.97</u>	<u>\$ 1.02</u>	(5%)

事業部門別詳細

(単位:100 万ドル)

	2005 年 第 2 四半期	2004 年 第 2 四半期	(増減)
グローバル個人金融部門			
GAAP 収益	\$ 12,007	\$ 12,215	(2%)
サンバ売却益除く	-	(584)	
調整後非 GAAP 収益	<u>\$ 12,007</u>	<u>\$ 11,631</u>	3%
GAAP 純利益	\$ 2,897	\$ 3,102	(7%)
サンバ売却益除く	-	(378)	
調整後非 GAAP 純利益	<u>\$ 2,897</u>	<u>\$ 2,724</u>	6%
法人金融・投資銀行			
GAAP 収益	\$ 5,156	\$ 6,067	(15%)
サンバ売却益除く	-	(584)	
調整後非 GAAP 収益	\$ 5,156	\$ 5,483	(6%)
GAAP 純利益	<u>\$ 1,372</u>	<u>\$ (2,805)</u>	NM
サンバ売却益除く	-	(378)	
訴訟費用除く	-	4,950	
調整後非 GAAP 純利益	<u>\$ 1,372</u>	<u>\$ 1,767</u>	(22%)
ヨーロッパ、中東およびアフリカ			
グローバル個人金融部門			
GAAP 純利益	\$ 122	\$ 601	(80%)
サンバ売却益除く	-	(378)	
調整後非 GAAP 純利益	<u>\$ 122</u>	<u>\$ 223</u>	(45%)
法人金融・投資銀行			
GAAP 純利益	\$ 336	\$ 662	(49%)
サンバ売却益除く	-	(378)	
調整後非 GAAP 純利益	<u>\$ 336</u>	<u>\$ 284</u>	18%
北米外の継続事業合計			
GAAP 純利益	\$ 2,016	\$ 2,837	(29%)
サンバ売却益除く	-	(756)	
調整後非 GAAP 純利益	<u>\$ 2,016</u>	<u>\$ 2,081</u>	(3%)